



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 企画管理本部長 (氏名) 中村 秀彦 TEL 075-313-6151
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,301	△3.5	1,291	4.3	1,448	2.9	1,009	7.9
2020年3月期第3四半期	19,993	0.5	1,237	5.7	1,407	5.1	935	32.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,689百万円 (33.3%) 2020年3月期第3四半期 1,267百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	53.20	—
2020年3月期第3四半期	49.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	50,456	39,921	78.7
2020年3月期	48,290	38,659	79.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 39,697百万円 2020年3月期 38,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,100	△1.4	1,540	△3.0	1,740	△3.0	1,200	△0.8	63.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	19,064,897株	2020年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	92,423株	2020年3月期	92,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	18,972,474株	2020年3月期3Q	19,017,511株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続き、一部においては、緊急事態宣言解除後の経済活動の再開や各種政策効果により持ち直しの動きも見られましたが、先行きは不透明な状況が続いております。また、世界経済においても中国においては経済活動再開や経済政策等により持ち直しの動きが見られるものの、同じく厳しい状況が続いております。

物流業界におきましても、国内の経済活動の停滞により荷動きは減少しており、反面、保管残高は高い水準を維持しております。また、国際物流におきましても、世界経済の停滞が続いていることから、輸出入ともに貨物取扱量は減少しており、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは第6次中期経営計画「CHANGE! to 2021」の施策を切れ目なく展開しつつ、コロナ禍において一層の「意識・知識・組織のCHANGE」の浸透を図ってまいりました。変化が加速する顧客ニーズに的確に対応できる営業体制の構築と業務の効率化を推し進め、業務品質のさらなる向上を目指すとともに働き易い職場創りを進めております。また、環境問題対策及び社会貢献の一環として、廃PETボトルの再資源化を行う豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社設立への出資や会議・交渉等のペーパーレス化の推進等に取り組むなど、いわゆる新しい「企業文化」の創設にも挑戦してまいりました。

また、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員の安全を最優先に考えたうえで感染防止と事業活動を両立させるための感染防止策に加え、移動を伴う会議のオンライン化や状況に応じた時差出勤やテレワークの実施等の対策を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は19,301百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は1,291百万円(前年同期比4.3%増)、経常利益は1,448百万円(前年同期比2.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,009百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高は前年同期に比し減少しておりますが、第3四半期においては荷動きに回復傾向が見られ、貨物回転率は改善しつつあります。また、再委託先の活用も図り保管残高は増加しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は4,984百万円(前年同期比1.8%増)、セグメント利益は保管残高が増加したことに加え、当社の物流ノウハウを活かした構内荷役作業サービスの提供、料金改定や貨物構成の一部見直し等の効果もあり863百万円(前年同期比42.0%増)となりました。

② 運送業

運送業におきましては、国内経済の停滞により取扱数量は減少しました。これらの結果、運送業の営業収益は9,300百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は貨物量の減少により一部非効率な運行状況となった影響等もあり647百万円(前年同期比18.8%減)となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は、国内および海外の経済活動の停滞の影響等から輸入は減少が続いておりますが、輸出は第3四半期に取扱数量が回復したことから前年同期に比し増加しました。梱包業の取扱数量については、得意先企業の海外営業展開の不振の影響等を受けて減少しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は5,122百万円(前年同期比9.5%減)、セグメント利益は採算性の高い梱包業の取扱が減少した影響等により296百万円(前年同期比19.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,166百万円増の50,456百万円となりました。これは主に、流動資産の受取手形及び営業未収入金が142百万円、固定資産の建物及び構築物が305百万円、それぞれ減少しましたが、流動資産の現金及び預金が新規借入れ等により403百万円、固定資産の投資有価証券が非上場会社株式等の新規取得及び株価の上昇により1,067百万円、現在建築を進めております梅小路地区の宿泊施設建設工事に係る建設仮勘定が1,117百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ905百万円増の10,535百万円となりました。これは主に、流動負債の支払手形及び営業未払金が231百万円、1年内返済予定の長期借入金が63百万円、未払法人税等が153百万円、それぞれ減少しましたが、流動負債の設備関係支払手形が梅小路地区の宿泊施設建設工事代金支払いによるもので466百万円、固定負債の長期借入金が新規借入れにより516百万円、繰延税金負債が有価証券評価益の増加等により296百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増の39,921百万円となりました。これは主に、利益剰余金が582百万円、その他有価証券評価差額金が667百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント減の78.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,893百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで1,504百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで14百万円の増加となり、前連結会計年度末に比べ403百万円(11.4%)増加し、当第3四半期連結会計期間末には3,932百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、1,893百万円と前年同期と比べ34百万円(1.8%)の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の取得による支出によるものであり、1,504百万円と前年同期と比べ2,325百万円(60.7%)の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、主に、長期借入れによる収入によるものでありますが、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払いによる減少もあり、14百万円と前年同期と比べ870百万円(98.4%)の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2020年8月7日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,729,082	8,132,468
受取手形及び営業未収入金	4,645,530	4,503,388
貯蔵品	17,872	10,430
その他	229,217	260,473
貸倒引当金	△1,905	△1,821
流動資産合計	12,619,797	12,904,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,694,857	13,388,983
機械装置及び運搬具(純額)	597,177	564,953
土地	11,962,569	11,962,569
リース資産(純額)	24,794	41,469
建設仮勘定	385,859	1,503,837
その他(純額)	121,793	111,112
有形固定資産合計	26,787,050	27,572,925
無形固定資産	42,204	87,986
投資その他の資産		
投資有価証券	8,467,895	9,535,410
繰延税金資産	55,158	38,117
退職給付に係る資産	—	13,979
その他	319,558	305,024
貸倒引当金	△1,419	△1,419
投資その他の資産合計	8,841,193	9,891,113
固定資産合計	35,670,448	37,552,024
資産合計	48,290,246	50,456,964

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,663,047	1,431,912
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	573,168	510,168
リース債務	9,250	11,856
未払法人税等	337,564	184,522
賞与引当金	270,433	133,814
役員賞与引当金	36,500	31,500
設備関係支払手形	278,504	745,318
その他	483,528	677,284
流動負債合計	6,761,995	6,836,376
固定負債		
長期借入金	1,480,386	1,997,385
リース債務	17,854	33,681
繰延税金負債	953,496	1,249,792
退職給付に係る負債	188,756	190,665
その他	227,813	227,703
固定負債合計	2,868,305	3,699,227
負債合計	9,630,301	10,535,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	30,735,900	31,318,364
自己株式	△98,635	△98,635
株主資本合計	35,635,367	36,217,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,775,986	3,443,798
為替換算調整勘定	△1,964	△2,315
退職給付に係る調整累計額	37,739	38,066
その他の包括利益累計額合計	2,811,761	3,479,549
非支配株主持分	212,816	223,979
純資産合計	38,659,944	39,921,360
負債純資産合計	48,290,246	50,456,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	19,993,622	19,301,968
営業原価	18,185,973	17,471,308
営業総利益	1,807,649	1,830,660
販売費及び一般管理費	569,780	539,116
営業利益	1,237,868	1,291,543
営業外収益		
受取利息	85	238
受取配当金	170,284	160,586
社宅使用料	9,088	10,447
持分法による投資利益	6,319	4,133
その他	14,048	13,359
営業外収益合計	199,825	188,765
営業外費用		
支払利息	25,797	29,826
その他	4,453	2,185
営業外費用合計	30,250	32,011
経常利益	1,407,443	1,448,297
特別利益		
固定資産売却益	8,078	1,874
投資有価証券売却益	—	35,977
特別利益合計	8,078	37,851
特別損失		
固定資産除却損	2,334	5,324
固定資産売却損	—	53
投資有価証券評価損	3,516	—
特別損失合計	5,851	5,378
税金等調整前四半期純利益	1,409,670	1,480,770
法人税、住民税及び事業税	359,305	426,140
法人税等調整額	108,921	32,021
法人税等合計	468,227	458,162
四半期純利益	941,443	1,022,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,039	13,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	935,404	1,009,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	941,443	1,022,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338,787	666,468
退職給付に係る調整額	△8,470	327
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,528	△351
その他の包括利益合計	325,789	666,444
四半期包括利益	1,267,233	1,689,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,259,819	1,677,132
非支配株主に係る四半期包括利益	7,414	11,919

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,409,670	1,480,770
減価償却費	1,006,355	1,049,286
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32	△84
賞与引当金の増減額(△は減少)	△127,098	△136,619
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,150	△5,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,159	△11,590
受取利息及び受取配当金	△170,369	△160,825
支払利息	25,797	29,826
持分法による投資損益(△は益)	△6,319	△4,133
為替差損益(△は益)	12	△8
投資有価証券評価損益(△は益)	3,516	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△35,977
固定資産除却損	2,334	5,324
固定資産売却損益(△は益)	△8,078	△1,820
営業債権の増減額(△は増加)	21,223	142,142
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,197	7,442
その他の資産の増減額(△は増加)	80,898	△41,317
営業債務の増減額(△は減少)	△49,694	△231,134
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,616	152,172
その他の負債の増減額(△は減少)	51,838	88,925
小計	2,247,559	2,327,381
利息及び配当金の受取額	170,869	161,253
利息の支払額	△28,036	△30,523
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△462,257	△564,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,928,134	1,893,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△3,479,653	△1,416,617
有形固定資産の売却による収入	13,986	24,792
有形固定資産の除却による支出	△164,160	—
投資有価証券の取得による支出	—	△155,837
投資有価証券の売却による収入	—	75,753
その他	114	△32,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,829,712	△1,504,508
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,700,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△312,390	△446,001
リース債務の返済による支出	△15,158	△10,975
自己株式の取得による支出	△61,843	—
配当金の支払額	△424,893	△427,856
非支配株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	884,958	14,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,016,631	403,385
現金及び現金同等物の期首残高	6,641,865	3,529,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,625,233	3,932,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,806,916	9,525,807	5,660,899	19,993,622	—	19,993,622
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	90,828	18,553	—	109,381	△109,381	—
計	4,897,744	9,544,360	5,660,899	20,103,004	△109,381	19,993,622
セグメント利益	608,265	797,020	369,929	1,775,215	△537,346	1,237,868

(注) 1. セグメント利益の調整額△537,346千円には、セグメント間取引消去29千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△537,375千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,895,481	9,283,741	5,122,745	19,301,968	—	19,301,968
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	89,445	17,007	—	106,453	△106,453	—
計	4,984,926	9,300,749	5,122,745	19,408,422	△106,453	19,301,968
セグメント利益	863,467	647,324	296,404	1,807,197	△515,653	1,291,543

(注) 1. セグメント利益の調整額△515,653千円には、セグメント間取引消去△98千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△515,555千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。